



チラ-1 グランプリ 2015

三重県最大級の市民活動【自作チラシ】コンテスト
三重県内で活動する市民活動団体の自作チラシのNo.1
を決定するチラ-1(チラワン)グランプリ。現在、
Facebookページで応募作品の人気投票を開催中です！
皆さんからの「いいね！」をお待ちしています。

人気投票 2015年 12月11日(金) ~ 2016年 1月11日(月祝)

チラ-1グランプリ 検索

人気投票はすでに開催中です！
お気に入りの作品に「いいね！」を押して応援くだ
さいね。結果発表は下記日程の表彰式で行います。

団体表彰 2016年 2月13日(土) 13:00~

会場 アスト津3F みえ イーパーツ リユースPC
寄贈式会場にて作品展示と表彰

登録団体からのお知らせ



三重FPフォーラム 2016 in 松阪 (ワークショップ)

講座 内容	第1部	知って得する保険の見直しポイント 講師 小久保敏枝氏
	第2部	誰にでもやってくる「相続」について、 知っておきたいこんなこと 講師 上田美也子氏

参加者に
プレゼント

日本FP協会発行
**くらしとお金の
ワークブック**
(冊子：2冊)

と き 2016年 2月20日(土) 13:00~16:40

NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部

ところ 松阪市市民活動センター

事前にお申込みが必要です。

費用 無料 定員 各講座 25名 申込み締切：2月18日(木)

お申込み
お問合せ
TEL 059-221-5177 (10:00~16:00 土日祝除く)
FAX 059-221-5178
Mail mie_bb@jafp.or.jp

〈主催〉NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部 〈後援〉三重県・三重県金融広報委員会・松阪市・松阪商工会議所・夕刊三重新聞社

センターからのお知らせ



◎ 年末年始休館 ▶ 2015 12/30(水) ~ 2016 1/4(月)

※2015/12/29(火)は17時までで閉館し館内清掃など新年を迎えるための準備をさせていただきます。
2016/1/5(火)から通常開館いたします。

ちょこつと編集後記

本紙の編集をしてくれるボランティアさんを募集しようかな~と考えています。DTPのスキルアップにはちょうど良いと思うのですが、いかがでしょうか？【S】

松阪発信！市民活動の情報紙 アロマ 次号は2016年2月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2016年1月31日(日)です。担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	大会議室.....机10 椅子30 (610円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
	小会議室1...机4 椅子12 (160円)	マイク/プロジェクター 他		
	小会議室2...机6 椅子18 (210円)	会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。		
	小会議室3...机4 椅子12 (160円)	利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。		

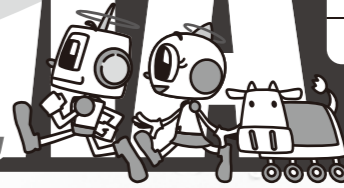
料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室.....机8 椅子24 (410円)

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室予約の確認など)
http://matsusaka.genki365.jp



AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity



(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.62

ちよつと気になる 編集者 “E”の 団体

今号は...
特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター
さんです

松 阪子どもNPOセンターは、2000年に法人格を取得した県内でも歴史のあるNPO法人だ。子どもたちが、のびやかで豊かな「子ども時代」を過ごすために生活体験、鑑賞体験など社会参画の機会をつくり、子どもを支える地域づくりをしている。「子どもたちは力を持っています。子どもを主体とする子育て・子育て支援を活動の軸にしています」と語るのは、理事長・塩谷明美(えんや・あけみ)さん。現在、松阪近郊を中心に約110名の会員、25の賛助団体・企業がある。



ルドラインを継続するためのファン活動として、毎年、チャリティ映画会も実施している。今年度は当センターが事務局を担う「住友理工 夢・街・人づくり助成金」を活用し、「家族の絆」、「命の大切さ」をテーマにした映画が上映される予定だ。

活 動は多岐にわたるが、中でも代表的な取り組みは、松阪市から委託される子育て支援事業「まつさかファミリーサポートセンター」の運営と、子どものための専用電話「チャイルドライン」の松阪地域の運営だ。ファミリーサポートセンターとは、会員登録した「子育てを助けてほしい人」と「子育てのサポートができる人」両者をつなげ、会員同士が支え合う仕組みのこと。人間関係が希薄になり、子育て家庭が孤立しがちな昨今、保育園への送迎などの「ちょっとお願い！」という声に地域の会員が応えている。この事業も12年目を迎えるがまだまだサポートする側が不足している。それでも、今では600人近い会員同士が支え合いながら活動しているそうだ。

子 ャイルドラインは、どんなことでも話せる18歳までの子ども専用電話だ。匿名でかけることができ、秘密は絶対に守られる。44都道府県の72団体が関わり、県内には7つの拠点がある。同法人は松阪地域の実施組織として、約40人のボランティアが日々、子どもの声に向き合っている。また、チャ

今 年度4月には、活動拠点をより利便性の高い中心市街地にあるカリヨンプラザ1階の「mamaca」(女性専用の貸しスペース)に移した。他にも児童養護施設で暮らす小学生の学習支援、親子に自然体験の機会をつくる「ゆきあそびツアー」、コミュニケーションを学ぶ「表現ワークショップ」の企画など幅広く活動している。塩谷さんは「今後はさらに子育て世代や商店街などとの連携を進めたい」と意気込む。子育ての相談、子どもに関わるボランティアに関心のある方は気軽に問い合わせしてほしい。

お知らせ

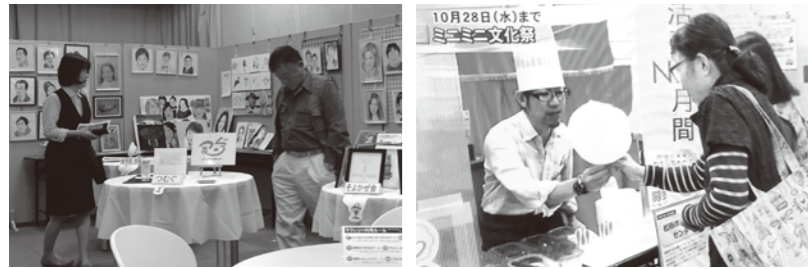
チャイルドラインチャリティ【映画会】
うまれるずっと、いっしょ。
日時 2016年1月22日(金)
会場 農業屋コミュニティ文化センター
前売券 ・大人... 1,000円(当日 1,500円)
・子ども... 700円(当日 1,000円) <小学生~18才>
※収益金は「チャイルドラインMIE」へ寄付されます
※未就学児の子どもと一緒に見られる「ママタイム」もあります

お問合せ 特定非営利活動法人
松阪子どもNPOセンター TEL 0598-20-8344

温かみある飾り付けで芸術の秋

【報告】ミニミニ（見に・観に）文化祭開催

10月26日～28日の3日間、当センターのラウンジを飾り付けて「ミニミニ（見に・観に）文化祭」を開催しました。急な企画でしたが、文化芸術の振興に取り組む登録団体にも賛同を得て作品をお借りすることができました。この期間中、わたがしマイスターが綿菓子も振る舞いましたよ。ご来場いただいた皆さま、ご協力いただいた登録団体さん、ありがとうございました。



また、新聞社、地元ケーブルテレビにも取材していただいたおかげで、普段、NPOや市民活動に馴染みのない層にも、当センターのことを知ってもらえる良い機会となりました。来場者に、このセンターや取り組んでいる事業について説明すると、市民活動支援のための寄付をいただくこともできました。市民活動やNPOをアピールするために、こうした地道なPR活動もやはり大切ですね。

綿菓子人気はとどまることなく!

【報告】第54回：氏郷まつりに出店しました

11月3日、当センターは第54回 氏郷まつりに出店しました。今回の出店内容は大きく2つ。1つは「NPOあっぱれ大賞」の人気投票の実施。ノミネート団体が作成した活動PRパネルを展示して、来場者が応援したいと思った団体に投票してもらいました。もう1つは、わたがしマイスターによる「チャリティー綿菓子販売」。当日は4名のわたがしマイスターがボランティアで綿菓子作りを実施しました。やはり綿菓子の人気はすごいもので、行列は途切れることなく続きました。綿菓子を振舞った人数も気付けば200人以上。この綿菓子の売り上げは全て、この地域のNPO支援に役立てます。「NPOあっぱれ大賞」と「わたがしマイスター」の取り組みは次年度も継続予定です。また来年の氏郷まつりで会いましょう～!



地域のNPOを支える助成金事業採択団体決定

【報告】住友理工「夢・街・人づくり助成金」公開審査会開催



11月28日、住友理工「夢・街・人づくり助成金」の公開審査会を開催しました。今年度は「夢づくりスタート部門」で3団体、「街・人づくり部門」で2団体、以上の5団体全てが採択されました。また、昨年度の採択事業の中から最も優秀な事業に贈られる奨励賞も授与しました。この助成金を活用していただく団体の活動が、より活発になることを期待します。この助成金事業も4年目を迎え、この地域に定着した印象があります。来年度は、より一層この助成金に応募しやすい環境を整え、この地域のNPO支援を充実したいと考えています。

今年度採択された団体はこちら

夢づくりスタート部門

NPO 法人エールの会 くれっしえんど
市民後見活動につなげるための「親なきあと」相談事業

「竹の都・明和」農業生産研究会
地球温暖化に関する学習（親子教室）事業

松阪ハーモニックジュニアバンド
音楽でつなげる愛の糸事業

街・人づくり部門

NPO 法人どんぐりの会
飛び出し注意喚起看板 設置・維持管理事業

NPO 法人松阪子どもNPOセンター
チャイルドラインチャリティー映画会
「うまれる ずっと、いっしょ。」事業

昨年度の優秀事業に送られる奨励賞

NPO 法人 三重音楽療法地域推進協会
ミュージックノーマリゼーション推進事業
～ライブスペース明和～

どの団体もあっぱれ! その中でも1番は?

【報告】第1回：NPOあっぱれ大賞の表彰式を開催

NPOあっぱれ大賞

松阪ハーモニックジュニアバンド

地域を華やかに賞

松阪手づくり甲冑愛好会

子どもの安心・安全賞

NPO法人 どんぐりの会

スポーツで元気な街賞

NPO法人 三重スポーツサポートアカデミー

手作りの温かみ賞

つむぐ

観光PR賞

ふるさと応援実行委員会

12月12日、市民活動・NPO月間の取り組みとして「第1回 NPOあっぱれ大賞」の表彰式を開催しました。この表彰式までに、ノミネート団体に作成していただいた「活動PRパネル」を氏郷まつり会場や、当センターの展示スペースに約1ヶ月間掲示し、人気投票を実施。合計で263の投票があり、その集計結果をもとに各賞を表彰しました。

記念すべき第1回NPOあっぱれ大賞に選ばれた「松阪ハーモニックジュニアバンド」さんには、大賞賞品として次号AROMAの取材権利と、副賞としてインクジェット複合機を贈呈しました。また、惜しくも大賞を逃したノミネート団体にも各団体の取り組みに応じた賞と、活動に活かせる文具などの副賞を授与しました。



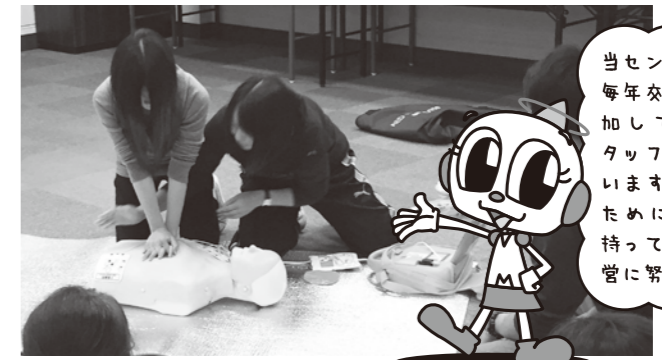
三重県ではNPO法施行月である12月を「市民活動・NPO月間」として定めています。この期間中、県内各地で中間支援団体主導によるイベントが実施されます。松阪地区では当センターが主となり「NPOあっぱれ大賞」を開催し、この地域のNPOを支援しました。



地域で頑張るNPOの活動を少しでも知ってもらい、評価される世の中であって欲しいという願いを込めた「NPOあっぱれ大賞」は、次年度も継続して取り組む予定です。この地域のNPOの継続した取り組みに期待します。

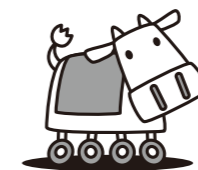
最新式のAEDで訓練実施!

【報告】おススメ講座 (Vol.5) 「普通救命講習(修了証あり)」を開催



当センターのスタッフは毎年交代でこの講習に参加していて、全てのスタッフが修了証を持っています。いざという時のために知識と心構えを持って公共施設の管理運営に努めています。

11月14日、当センターのおススメ講座 (Vol.5) として「普通救命講習」を開催しました。松阪消防本部から講習担当者を招き、心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の扱い方など、正しい応急処置の方法を学びました。参加者のほとんどが講習経験者であったため、進行もスムーズでした。そこに登場したのが最新式の講習用AED。初めて扱う機械に戸惑う場面もありましたが、これまでのAEDとの違いが学べたことで参加者にとっても、満足度の高い講習となったようです。



本号の市民活動用語解説コーナー「いまさら聞けない!?あのコトバこのコトバ」は、誠に勝手ながら、紙面の都合上お休みとさせていただきます。

皆さん、素晴らしい活動ですね!

